

ネコソギクイックプロFL

実際に使用する際は必ず商品ラベルをよく読み、記載内容に従ってお使いください。

農林水産省登録 第 21593 号

農薬の名称 ネコソギクイックプロFL

農薬の種類 グリホサートイソプロピルアミン塩・ピラフルフェンエチル水和剤

成分

- ・ グリホサートイソプロピルアミン塩 ・ ・ 30.0%
[イソプロピルアンモニウム=N- (ホスホノメチル) グリシナート]
- ・ ピラフルフェンエチル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 0.16%
[エチル=2-クロロ-5-(4-クロロ-5-ジフルオロメトキシ-1-メチルピラゾール-3-イル)-4-フルオロフェノキシアセタート]
- ・ 水、界面活性剤等 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 69.84%

性状 類白色水和性粘稠懸濁液体

適用雑草と使用方法

※印は、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		総使用回数※		
				薬量	希釈水量	本剤	グリホサート	ピラフルフェンエチル
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び多年生雑草	収穫 14 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm以下)	0.4～0.6 mL/m ²	100mL/m ²	2回	3回	2回
水田作物 (水稲を除く)	—	一年生雑草	耕起 20～10 日前 (雑草生育期)			1回	2回	1回
移植水稲							1回	
直播水稲	水田刈跡	多年生雑草	雑草生育期	0.5～1 mL/m ²		1回		
水田作物 (水田刈跡)						休耕田	一年生及び多年生雑草	雑草生育期 (草丈 50 cm以下)
水田作物、畑作物 (休耕田)	果樹類 (かんきつ、キウフルーツ、パイナップルを除く)	一年生及び多年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm以下)	0.4～1 mL/m ²				
かんきつ						—	一年生雑草	耕起またはは種 7 日以前 (雑草生育期： 草丈 30 cm以下)
だいこん	一年生雑草	耕起または定植 7 日以前 (雑草生育期： 草丈 30 cm以下)	3回	3回				
キャベツ						一年生雑草	耕起またはは種 10 日以前 (雑草生育期： 草丈 30 cm以下)	1回
はくさい	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草生育期： 草丈 30 cm以下)	2回	4回				
ねぎ					一年生雑草	畦間処理：雑草生育期 (草丈 30 cm以下) 但し、収穫前日まで	3回	3回
たまねぎ (秋播移植栽培)	公園庭園 堤とう道路 運動場 宅地 鉄道のり面等	一年生及び多年生雑草	雑草生育期 (草丈 50 cm以下)	0.5～1 mL/m ²				
えだまめ					スギナ	雑草生育期 (草丈 30 cm以下)	1～4 mL/m ²	
だいず	スギナ	雑草生育期 (草丈 30 cm以下)	1～4 mL/m ²					
樹木等				公園庭園 堤とう道路 運動場 宅地 鉄道のり面等	一年生及び多年生雑草	雑草生育期 (草丈 50 cm以下)	0.5～1 mL/m ²	3回
樹木等	スギナ	雑草生育期 (草丈 30 cm以下)	1～4 mL/m ²					

[使用方法] 雑草茎葉散布 樹木等：植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	総使用回数※		
						本剤	グリホサート	ピラフルフェンエチル
樹木類 畑作物	林地、畑地 放置竹林	竹類	夏～秋期	原液	10～20mL/本	—	—	—

[使用方法] 竹稈注入処理

[上手な使い方]

宅地等の一年生および多年生雑草には水で 100 倍に希釈、スギナには 25～50 倍に希釈し、雑草の葉や茎に薬液がまんべんなくかかるように散布する。

1 m²当り 100mL の薬液を散布するのが目安。

竹には、1 本当り原液 10～20mL を節間に穴を開け注入する（竹は枯れるまで数か月かかる）。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきる。
- 容器をよく振ってから使用する。
- **散布器具、容器は除草剤専用のものを用いる。**
- グリホサートを含む混合剤であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用する。
- 展着剤加用の必要はない。
- 土壌が流亡したり、くずれたりする恐れのある所では使用しない。
- 激しい降雨の予想される場合は使用をさける（効果）
- スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布する。また、スギナの再生を長期間抑制したい場合には、3～4 ml/m²に設定することが望ましい(効果)
- 多年生雑草およびツユクサ科雑草を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用する(効果)
- 作物の出芽後に散布すると薬害が生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布する。
- 生育期畦間散布に使用する場合には、作物にかからないよう十分注意して散布する(薬害)
- 竹類の竹稈注入処理の場合は、処理竹から 15m以内に発生したたけのこを食用に供さない。また、縄囲いや立て札によりたけのこが採取されないようにする。
- 農作物や有用植物にかかると強い薬害を生ずるので、風向きなどに十分注意してかからないように散布する。
- 水田への飛散、流入等により水稻に薬害が生ずるので十分注意する。
- 散布液を調製した容器及び器具は使用后石けん水等で十分洗浄する。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意する。
 - ・ 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
 - ・ 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましい。

安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗する（弱い刺激性）
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。[マスク着用マーク]
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。

魚毒性等・・・

- 養魚田では使用しない（魚類）。
- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意（藻類）
- 散布後は水管理に注意。
- 散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さない。

保管・・・密栓し、直射日光をさげ、食品と区別して、冷涼な所。